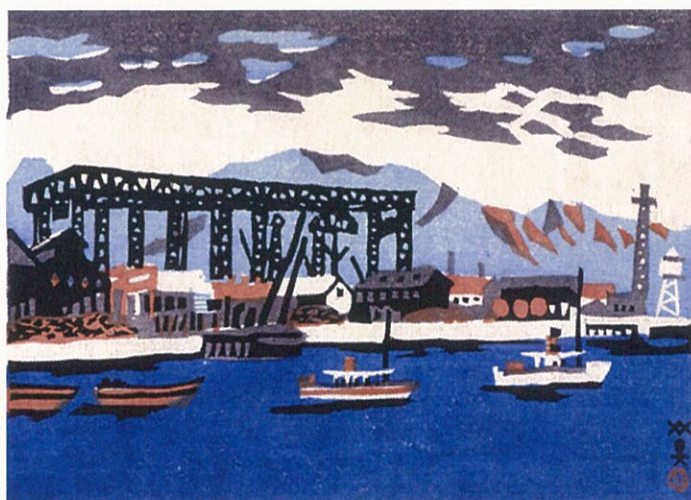


—神戸開港150年記念—  
神戸港と神戸文化の企画展



## 高畑誠一と松方幸次郎



2017年4月8日14:00～  
於:KIITO (デザイン・クリエイティブセンター神戸)

辰 鈴木薄荷株式会社  
常務取締役 高畑 新一

### 0. 目次

#### 1. 自己紹介

#### 2. 概略説明

- 鈴木商店について
- 川崎造船所について
- 金子・松方・高畑の略歴俯瞰

#### 3. 松方幸次郎の功績

- ①青雲
- ②情熱
- ③波濤
- ④苦闘・再起 (少し端折ります)

#### 4. 総括 (会場からコメント)

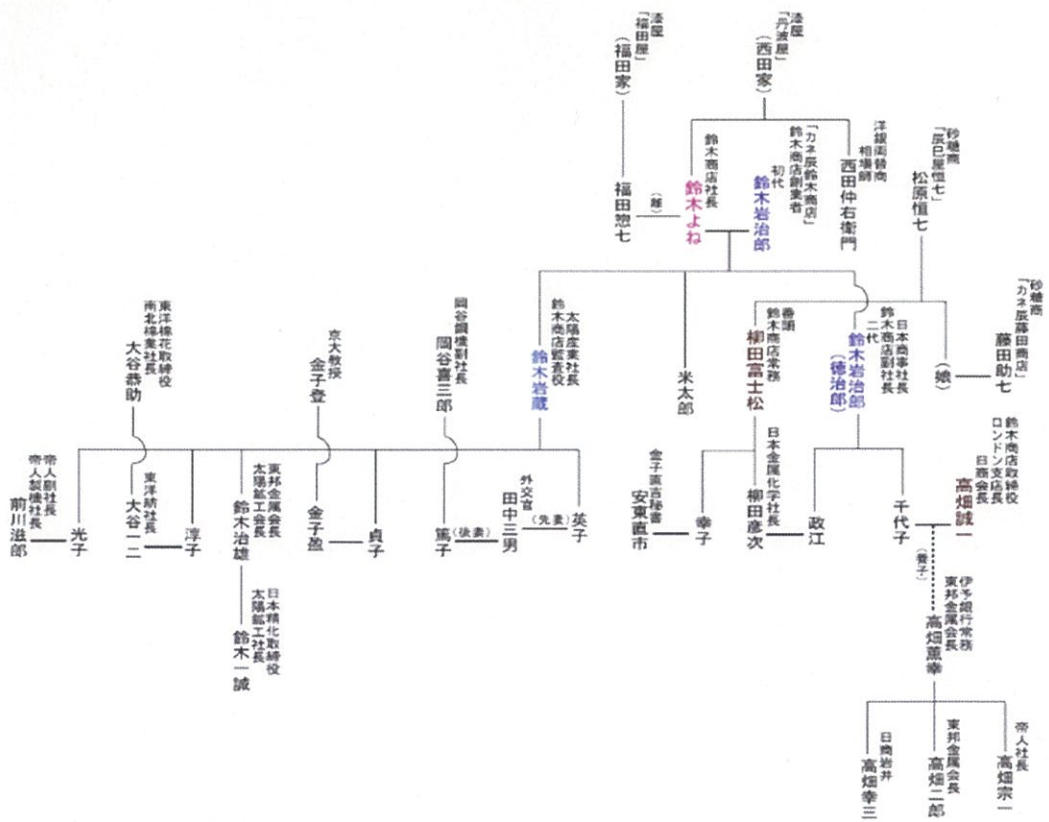
# 1. 自己紹介

## 経 歴 書

高 畑 新 一	(たかはた しんいち)
[ 出身地 ]	東京都
[ 生年月日 ]	1969年(昭和44年)12月3日生
[ 学 歴 ]	1993年(平成 5年)3月 学習院大学経済学部 卒業 2015年(平成27年)9月 神戸大学大学院 経営学研究科 現代経営学専攻 (社会人 MBA プログラム) 専門職学位課程修了
[ 職 歴 ]	1993年(平成 5年) 4月 日商岩井株式会社(現 双日株式会社)入社 1999年(平成11年) 10月 同社退社 同年 11月 太陽鋳工株式会社入社 総務部付 2013年(平成25年) 7月 同社退職 同年 6月 鈴木薄荷株式会社入社 同社顧問 同年 8月 同社取締役役に就任(現) 2015年(平成27年) 8月 同社常務取締役役に就任

「金子直吉の経営能力に関する研究」

# 1. 自己紹介



## 2. 概略説明

### ● 鈴木商店について

- 1874年、大阪砂糖商・辰巳屋のれん分け、神戸に「カネ辰鈴木商店」創業
- 順調に成長し神戸八大貿易商に
- 1894年、鈴木岩次郎が急逝し金子直吉と柳田富士松の両番頭体制となる
- 1899年、台湾樟脳油の販売権を得るなど、樟脳取引の規模拡大
- 1903年、大里製糖所設立、1905年小林製鋼所買収など多角化
- 1914年の第一次世界大戦開戦以降、大戦景気に乗り世界企業へと急成長
- 1918年、米騒動で焼き討ち
- 1918年、第一次世界大戦終戦、1923年関東大震災不況などで業績悪化
- 1927年、昭和金融恐慌、台湾銀行新規融資打切りで事業停止へ
- 神戸製鋼・帝人・双日・太陽鋳工など鈴木色の残る企業や、他、三井化学、三菱レイヨンなどの一部となって事業は継承されている

## 2. 概略説明

### ● 川崎造船所について

- 1878年、川崎正蔵が東京築地に川崎築地造船所を設立
- 1881年、川崎兵庫造船所を設立
- 1886年、官営兵庫造船所の払下、設備の移管と川崎造船所と改称
- 1896年、株式会社川崎造船所設立、初代社長に松方幸次郎
- 1902年、乾ドック完成
- 1906年、日本初国産潜水艦建造・鉄道車両製造進出
- 1907年、カーチス式タービン製造開始
- 1912年、ガントリークレーン完成
- 1918年、航空分野に参入
- 1919年、川崎汽船設立、鈴木商店らと国際汽船設立
- 1928年、経営危機の責任を取って松方幸次郎社長を辞任
- 事業は引き継がれ、川崎重工業・川崎製鉄(JFE)・川崎汽船などのグループ企業、他、神戸新聞社・昭和シェル石油・富士電機・川崎設備工業・日本興亜損保へ

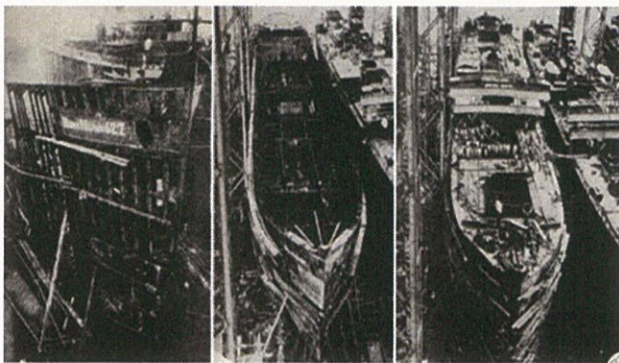
## 2. 概略説明

# 鈴木商店・川崎造船所の絶頂期

松方幸次郎の欧州滞在 1916年3月神戸出発

1918年11月神戸到着

### ストックポート販売



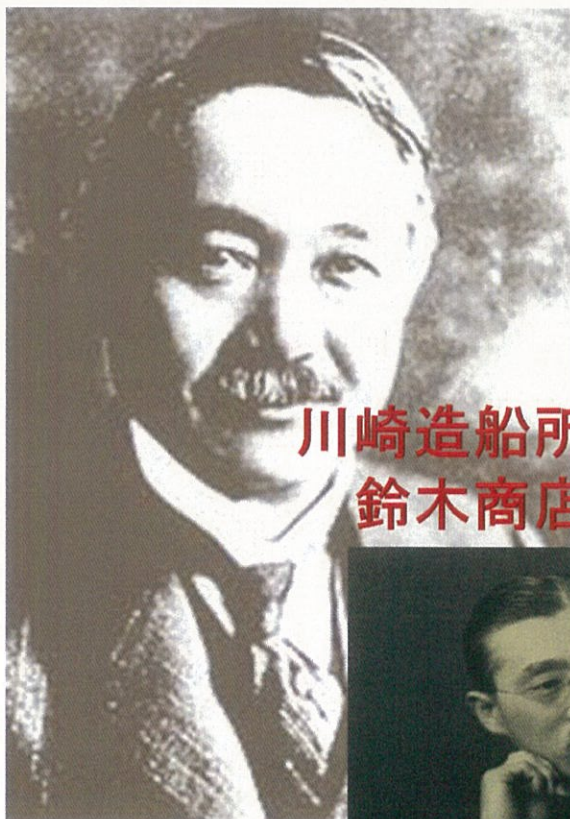
来福丸 1916～1921年75隻  
を量産したストックポート

### 松方コレクション

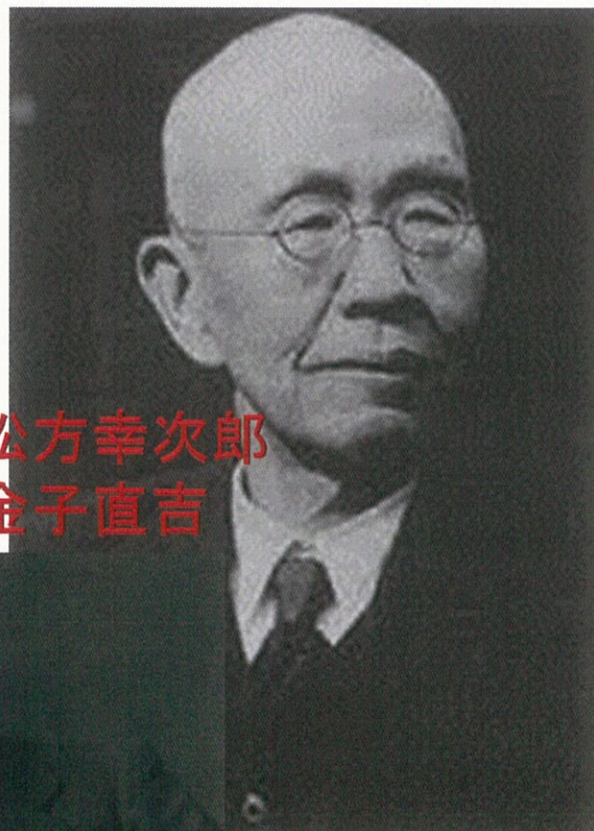


モネと松方幸次郎  
パリ郊外

## 2. 概略説明



川崎造船所＝松方幸次郎  
鈴木商店＝金子直吉



## 2. 概略説明

# 松方幸次郎 の 生涯を中心に振り返り 英国 における ストックボート販売 や 松方コレクション の 背景を振り返る



双日(株)ホームページ  
<http://sp.sojitz.com/kobe150/>

## 3. 松方幸次郎の功績



この豪華な椅子と松方の関連が、  
分かる方はいらっしゃいますか？



## ●松方幸次郎、ダイジェスト

- 1866年、薩摩(鹿児島)で誕生
- 父は明治の元勲、第4代、第6代内閣総理大臣の松方正義
- 1884年、東京帝国大学(現東大)を中退、米ラトガーズ大学留学
- 1890年、エール大学法学博士号を取得し卒業
- 1896年、川崎正蔵に要請され川崎造船所初代社長に
- 大胆な経営手腕、近代化、多角化、ストックポートなどにより川崎造船所躍進
- 労働環境改革に着手
- 松方コレクションと呼ばれる美術品の収集
- 1928年、経営危機の責任を取って社長を辞任



①青雲

②情熱

③波濤

④苦闘・再起(少し端折ります)

### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)

和暦	慶応	明治							
	2年	8年	14年	16年	17年	19年	23年	24年	27年
西暦	1866年	1867年	1868年	1868年	1868年	1870年	1874年	1875年	1878年
	0	9	15	17	18	20	24	25	28
年齢	①青雲								
松方幸次郎	薩摩(鹿児島)で誕生	上京	共立学校(現開成)卒	東京帝国大学中退	米・ラトガーズ留学	エール大学編入	エール大学卒業	父正義総理の秘書官	浪花火災保険副社長

- ・父、松方正義
- ・明治十六年事件
- ・ラトガーズ大学
- ・エール大学法学博士号へ
- ・川崎正蔵、森村市左衛門の森村組經由援助
- ・その他、注目事項

### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)



1875年、幸次郎、父を追って上京

松方正義(まつかた まさよし)

1835-1924 明治-大正時代の政治家

- ・1835年、薩摩(さつま)鹿児島生まれ
- ・松方幸次郎は三男(正義が31歳の時の子)
- ・1878年、パリ万国博の事務局副総裁で渡欧
- ・1881年以降大蔵卿、蔵相を歴任  
→紙幣整理,増税の松方財政を推進
- ・1882年、日本銀行を設立し,金本位制を実施
- ・第4・6代(1891年・1896年)内閣総理大臣
- ・15男11女の子供?

### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)



1881年、共立学校(現、開成高)卒業  
1881年、大学予備門(旧制一高の前身)入学  
1883年10月、明治16年事件  
東京大学学生及び同予備門生徒のうち、寄宿舍生の大部分によって行われた賄征伐  
→在舎生全員の146人退学処分  
1884年5月、60名が復学

長兄巖 私費ドイツ 次男正作 外務省研修生ベルギー

賄征伐(まかないせいばつ)  
明治時代を中心に、旧制高等学校などで、寮に寄宿する学生が起こした学校騒動

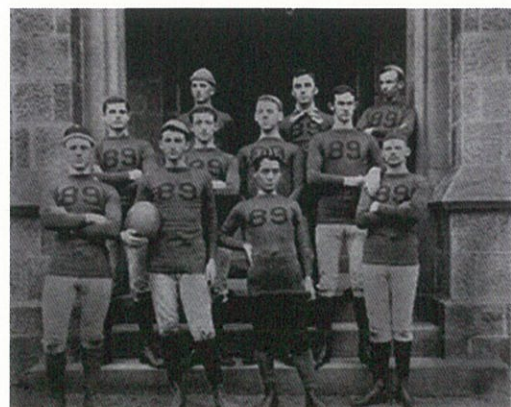
### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)

ラトガーズ大学 1766年11月10日創立

ニュージャージー州の州立総合研究大学。全米で8番目に古い。アイビーリーグの1校。



1884年頃 NY ラトガーズ大学にて





### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)



高橋是清(たかはし これきよ)  
\* 1878年 共立学校の初代校長

高橋新吉 1843-1918  
鹿児島出身の英学者・官僚  
神戸税関長などを歴任し、NY在勤領事に  
幸次郎がNY在住時に頼りにしていた

1885年、高橋是清、NY高橋新吉領事を訪問  
幸次郎に正蔵が大蔵大臣になった事を告げる  
高橋新吉とともにエール大学転入を勧める

- ・エール大学法学部に転入
- ・学費生活費¥800/年 初任給¥5の時代
- ・川崎正蔵、森村市左衛門の森村組経由援助

### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)



川崎正蔵(かわさき しょうぞう)  
1837-1912 明治期の実業家

- ・1837年、鹿児島商家に生まれる
- ・1854年、長崎に出て貿易業に従事
- ・1864年、大阪に進出し、鹿児島との雑貨の交易業
- ・1873年、郵便蒸汽船会社の副頭取
- ・1878年、東京・築地に、川崎築地造船所開設
- ・1877年、琉球(りゅうきゅう)官糖取扱店を開く
- ・1887年、官営兵庫造船所の払下げを受ける
- ・1896年、株式会社に改組、実権を松方幸次郎に  
→3男2女 3人の息子を早くに亡くす  
→岩崎弥太郎にスカウトされるも断る

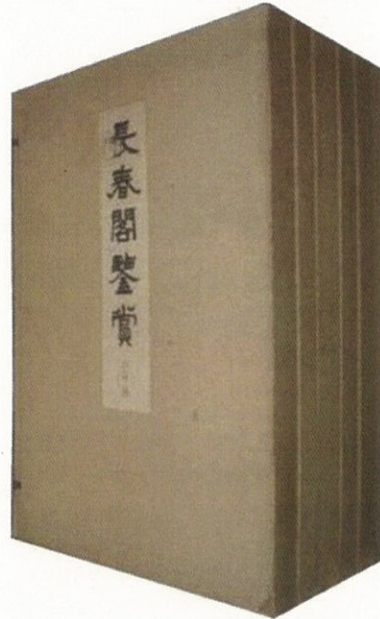
- ・1896年、第一線引退後は美術収集家  
→2000余点の名品を収集  
→神戸布引の自宅内に長春閣と言う美術館  
→「寒山拾得二幅対」など(国宝)  
→海外への美術品流出を阻止
- ・1898年、神戸新聞創刊
- ・1905年、神戸川崎銀行を設立

### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)

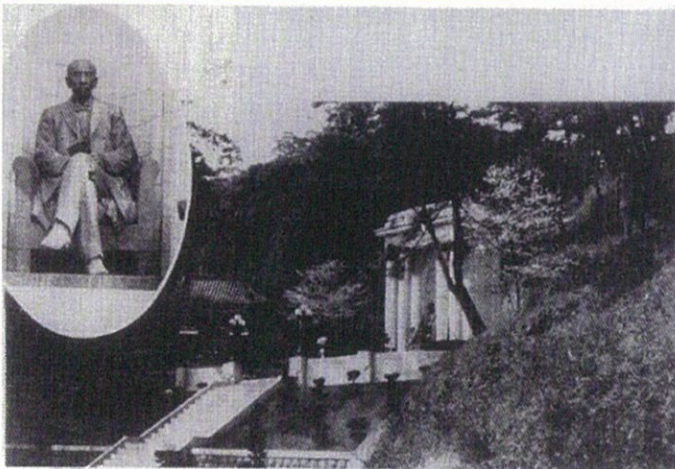


「寒山拾得二幅対」顔輝(国宝)  
東京国立博物館蔵

長春閣鑑賞 全6冊揃 大正3年出版  
1~4集:絵画 5集:彫刻 6集:器



### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)



川崎正蔵の銅像跡  
第二次世界大戦の金属類回収で消失し、  
台座だけが残っている

### 3. 松方幸次郎の功績(①青雲編)



#### 松方幸次郎

1890年、エール大学法学博士号取得、欧州經由帰国

1891-1896年、正蔵秘書官、東京大学で教鞭など

#### その他

1885年、川崎の三男新次郎がNYで結核で逝去

1885年頃、ワシントン留学中の九鬼好子と出会う(1898年結婚)

### 3. 松方幸次郎の功績(②情熱編)

和暦	明治									
	29年	31年	32年	33年	35年	37年	40年	41年	42年	44年
西暦	1888年	1889年	1890年	1891年	1892年	1894年	1897年	1900年	1901年	1903年
	②情熱									
年齢	30	32	33	36	38	41	42	43	44	45
松方幸次郎	川崎造船初代社長・乾ドック着手	結婚 大阪舎密鉱業社長	神戸新聞社長	第一回渡欧・乾ドック完成	渡米・潜水艦技術導入	第二回渡欧	神戸商工会議所会頭	人員整理 5000人	第三回渡欧・神戸瓦斯社長	

- ・1894-1895年、日清戦争
- ・1896年、松方幸次郎 川崎造船所初代社長
- ・1896年、乾ドック着工1902年完成
- ・1904-1905年、日露戦争
- ・1905年、鉄道車両事業進出
- ・1906年、国産初の潜水艇「六号潜水艇」竣工
- ・1906-8年、日露戦争の戦後不況
- ・1907-8年、人員整理
- ・1910年、衆議院議員補欠選挙落選
- ・1911年、準用戦艦「榛名」(27,500トン)受注  
→ガントリークレーン建設

### 3. 松方幸次郎の功績(②情熱編)



#### ●日清戦争

- ・1894年7月から1895年3月 朝鮮半島の支配権をめぐる日本と大清国の戦争
- ・1895年4月17日、日清講和条約(下関条約)を締結

#### ●川崎造船の動きと関連

- ・主な船舶は500トン以下クラス
- ・海運会社の船舶は軍務に徴用  
→改造・修理業務急拡大
- ・広島・宇品に工員を派遣
- ・清国にも工員150人を派遣し、給水船5隻を建造
- ・船の大型化(三菱は長崎にドック保有)

### 3. 松方幸次郎の功績(②情熱編)

#### ●1896年、松方幸次郎 初代社長着任

- ・川崎正蔵59歳→3人の息子が他界
- ・乾ドックの必要性→資金確保のために株式会社化  
(松方正蔵、2度目の総理大臣)



190?年頃より金子直吉、松方邸に?



神戸市中央区山本通四丁目自宅→→→川崎造船所  
 二頭立て馬車で通勤

### 3. 松方幸次郎の功績(②情熱編)

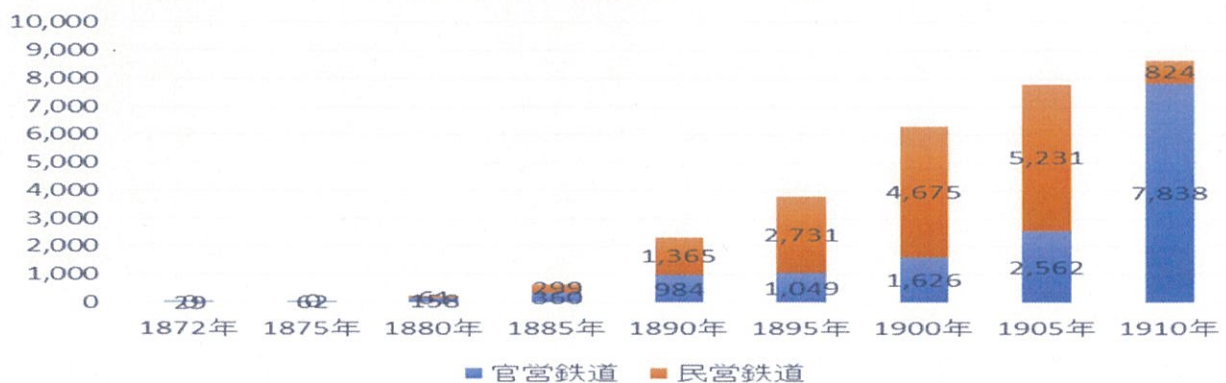


#### 川崎造船所 乾ドック

- ・1896年着工、6年の歳月をかけ1902年に完成
- ・湊川河口の砂地盤で難工事
- ・地盤を固める為に1万本の松杭で基礎
- ・水中でコンクリートを敷設
- ・1998年、登録有形文化財
- ・2007年、近代化産業遺産認定
- ・2013年に閉鎖、111年の歴史に幕

### 3. 松方幸次郎の功績(②情熱編)

#### 鉄道の営業キロ数

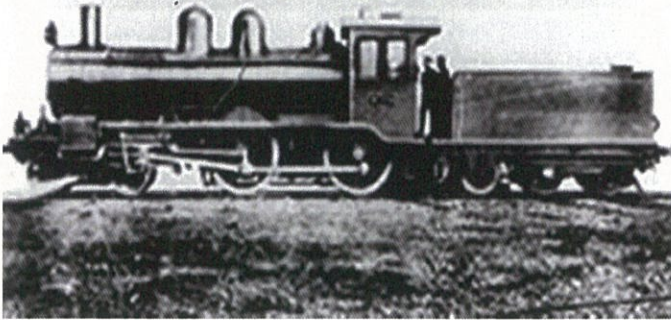


#### 日本の鉄道の動き

1872年、品川ー横浜間に鉄道が開通し、イギリスから輸入した機関車を利用

- ・日清戦争の賠償金は当時の国家予算の3~4倍
- ・富国強兵Plus産業革命
- ・産業の基盤、輸送網の整備→鉄道経営は国営か民間か？
- ・1906年鉄道国有法が成立し、主要幹線の民営鉄道17社を買収して国有化

### 3. 松方幸次郎の功績(②情熱編)



国産化第一号  
 6700形テンダ形機関車  
 同型式27両製造  
 軸配置 2B 重量 72.9t

川崎造船における鉄道事業の動き

- ・1905年、鉄道車両事業進出
- ・1906年、定款に「汽車・車両・機関車」を加える
- ・1907年、車両製作を開始
- ・1908年、後藤新平、機関車発注
- ・1911年、国産化第一号の蒸気機関車が完成

以降、1971年までに合計3,237両の蒸気機関車を製作している

### 3. 松方幸次郎の功績



日露戦争

- ・1904年2月～1905年9月、韓国と中国東北部の支配をめぐる日本とロシアの戦争
- ・1905年9月ポーツマス講和条約を締結
- 国内に講和反対のうねり

→軍拡の動き→船舶需要の更なる拡大

### 3. 松方幸次郎の功績



ジョン・フィリップ・ホーランド  
米国人 潜水艦の父

#### 国産潜水艦への背景

- ・日露戦争頃、ロシア潜水艦保有の情報
- ・米国では既に魚雷が発射できる潜水艦有り
- ・日本海軍も第一型潜水艇を発注
- ・国内に製造ノウハウが無く、潜水艇を分解  
→横須賀海軍で再び組み立て
- ・米国に5隻を発注し1905年に竣工

1904年、松方幸次郎は海軍からの潜水艦技術の確保を依頼され、70日間のアメリカ出張

潜水艦の父と呼ばれるホーランドに接触

→技師の派遣を依頼

「日露戦争中の国に部下を派遣できない」

「極東の新興国を見捨てないで欲しい」と懇願  
技師6人の派遣に成功

### 3. 松方幸次郎の功績(②情熱編)

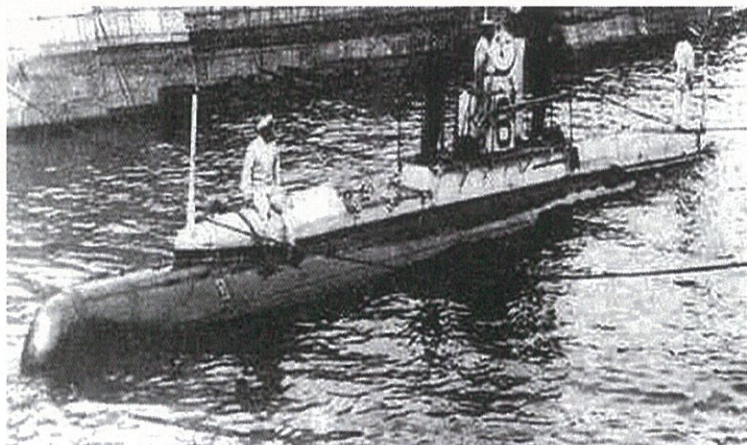
第六潜水艇(1906年竣工)

1910年沈没、14名が死亡

・イタリア海軍では、乗員が脱出用のハッチに折り重なったり、他人より先に脱出しようと乱闘をしたまま死んでいた

・第六潜水艇では、乗員が配置についたまま殉職

→海軍潜水学校で展示されたが第二次世界大戦後に進駐軍によって解体



艦長の佐久間 勉

(さくまつとむ、1879年- 1910年)

艇内にガスが充満して死期が迫る中の遺書

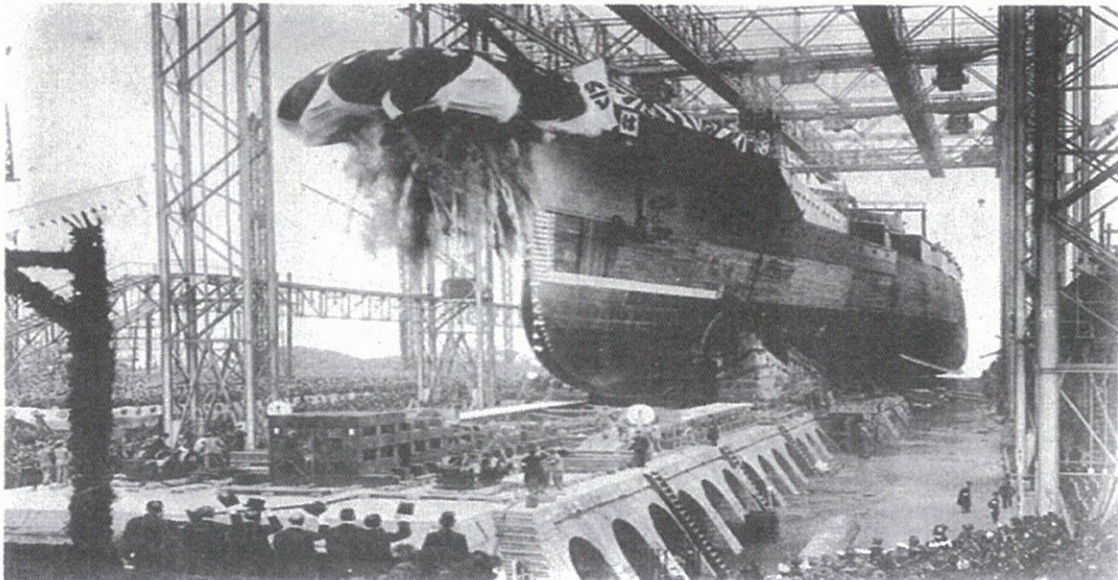
- ・潜水艇の喪失と部下の死を謝罪
- ・事故原因の分析
- ・乗員遺族への配慮を依頼

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

和暦	大正						
	1年	3年	5年	6年	7年	8年	9年
西暦	1911年	1912年	1913年	1914年	1915年	1916年	1917年
	1918年	1919年	1920年	1921年	1922年	1923年	1924年
③波濤							
年齢	46	48	50	51	52	53	54
松方幸次郎	クレイション完成・衆院選に出馬し当選	ストックポート造を決意	第四回渡欧	共楽美術館設計依頼	8000点の浮世絵購入	8時間労働制	国際汽船社長

- ・1912年 波乱の幕開け
- 第一次世界大戦開戦
- ・1914年6月、サラエボ事件
- ・1919年1月、ベルサイユ条約調印
- 松方幸次郎欧州
- ・1916年3月、出発
- ・1918年11月、帰国
- 松方コレクション

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)



日露戦争後の世界的な軍備拡大  
 戦中は1万トンレベルの戦艦が主  
 海軍は2万トンを超える超弩級戦艦建造を計画  
 (ドレッドノート)

- 1番艦「金剛」イギリス
- 2番艦「比叡」イギリス
- 3番艦「榛名」神戸川崎造船所
- 4番艦「霧島」三菱長崎造船所

- 1912年3月16日、「榛名」川崎造船所起工
- 1912年3月17日、「霧島」三菱造船所起工
- 1913年12月1日、「霧島」進水
- 1913年12月14日、「榛名」進水
- 1914年11月18日、篠田恒太郎 艤装工事中自殺
- 1915年4月19日、「榛名」「霧島」竣工



### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

#### ●波乱の1912年

3月16日	「榛名」の竣工式
5月15日	衆議院選
6月22日	大飛行大会
11月22日	クレーン完成 →事故で4名死亡
12月 3日	川崎正蔵逝去

予想以上の建造費  
総工費約¥1,000万の内  
¥250万の負担を海軍省に依頼(1913年頃)



クレーンの解体は1962年

- 松方は社員の技術向上にこだわりを持っていた  
製造現場作業員を含む社員をイギリス・ドイツへ榛名製造中67名  
1912-1928年で計200名余り

1912-1913年、湊川実業補習学校などで夜間学習の奨学金 1680名が受講

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)



サラエボ事件

1914年6月28日、オーストリア・ハンガリー帝国の皇太子  
フランツ・フェルディナント大公夫妻が、領有していたボ  
スニア・サラエボで、セルビア人青年に暗殺された。  
オーストリアは事件後、セルビアに対して最後通告を突  
きつけ、1カ月後に宣戦布告。  
第1次世界大戦へと発展。

#### ●第一次世界大戦

##### ○概況

・1914年6月サラエボ事件を契機に、イギリスとドイツの対立は欧州諸国やその植民地を巻き込み世界大戦へ

・イギリスの絶対的優位が信じられており、クリスマスまでには終結すると多くが楽観していた

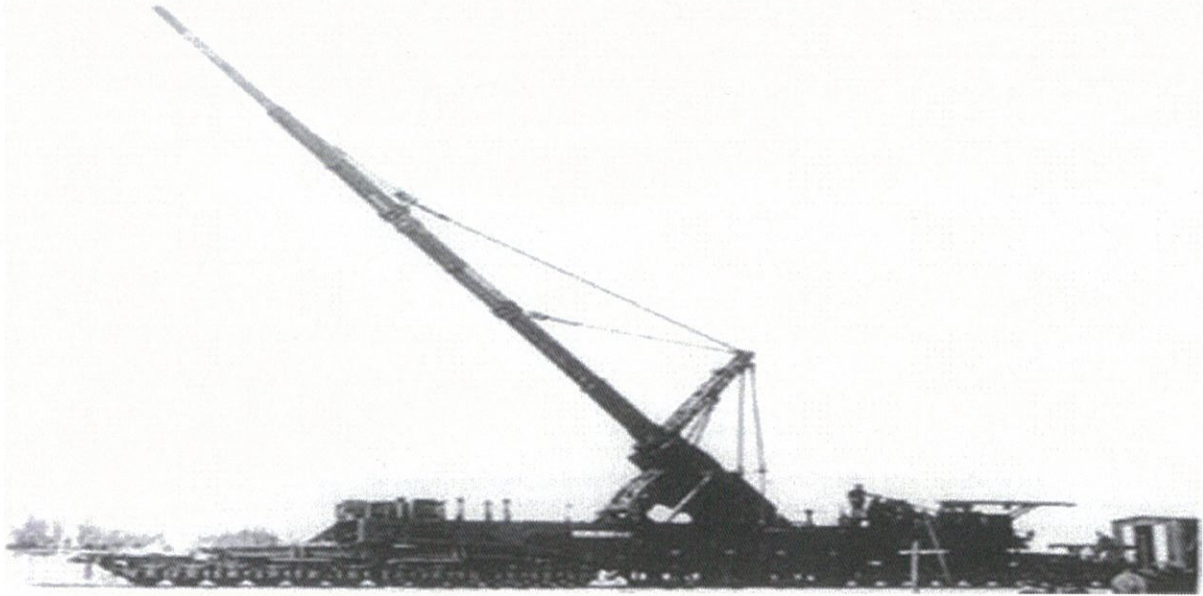
・1914年8月、日本がドイツに宣戦布告

・1917年4月、アメリカ参戦

・1919年1月、ベルサイユ条約、約4年半の戦争

→4年以上長期化した理由…

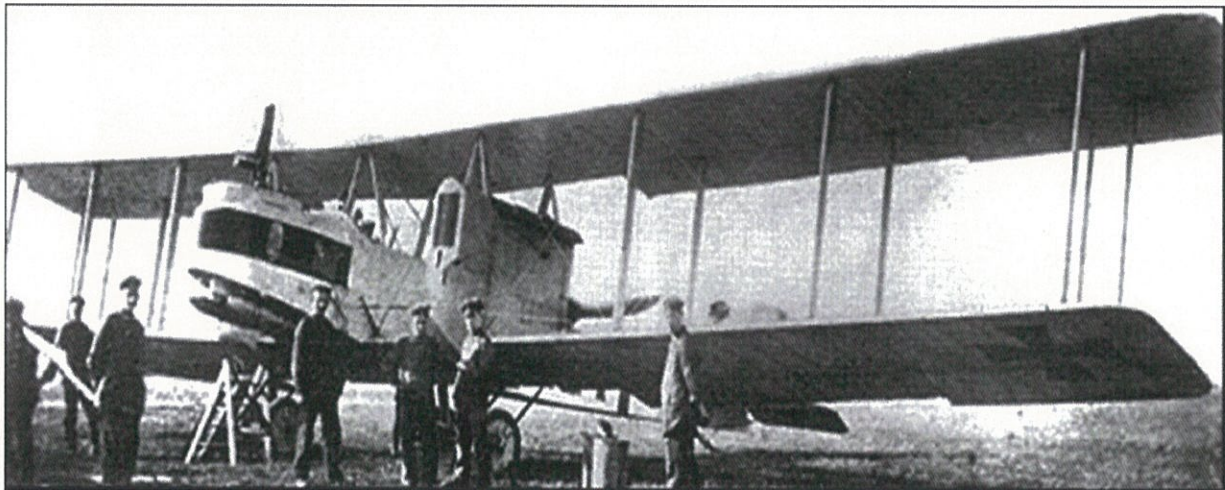
### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)



パリ砲(1918年3~8月まで使用)

- ・ドイツ軍がパリを砲撃するために製造した巨大な列車砲
- ・空気の薄い上空に砲弾を打ち上げ抵抗の影響が少なくし、射程が驚異的に伸びた

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)



ゴータ

ドイツ軍により製造された双発の長距離爆撃機

- ・第一次世界大戦以前は航空機を軍事に利用するとは考えられていなかった
- ・1917年5月、23基で昼間のロンドンを爆撃

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)



#### Uボート

開戦時期、Uボートの評価は、あくまでも補助艦艇という位置づけ

- ・1914年9月、3隻撃沈し評価が一変
- ・1915年2月、イギリスに向かう商船へ無制限攻撃
- ・1915年5月、豪華客船ルシタニア号を無警告で撃沈→1,198人の犠牲者、123人のアメリカ市民
- ・1915年8月、ドイツ国内で無警告攻撃を禁止→ドイツ国内で軋轢
- ・1917年1月、無警告攻撃がドイツ国内で認められる
- ・1917年2～3月、500隻近い商船がイギリス周辺や地中海で撃沈
- ・1917年4月、アメリカが連合国側に立って参戦

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

#### ●第一次世界大戦開始直後の松方の動きが他と違う……

→松方幸次郎は第一次大戦の長期化、物価の高騰を確信していたのか？

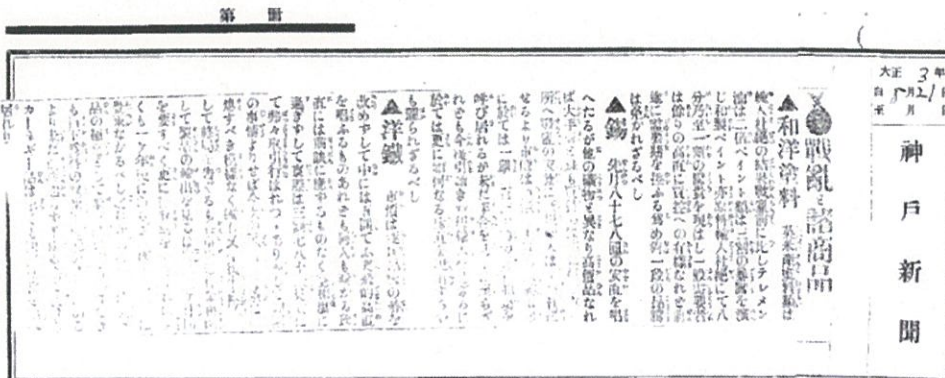
・1914年7月29日 神戸新聞の社説

「オーストリアにはドイツ、セルビアにはロシアがついている。

ドイツ、ロシアが戦闘すれば英・伊・仏も黙っていない。欧州列強の大戦争となる。」

・1914年8月21日

↓戦乱と諸商品 和洋塗料、錫、洋鉄の市況を解説



1915年3月

1916年3月25日

衆院選に立候補見送り 製鉄部門立ち上げ

神戸出発(出張予算は一年分だった)

アメリカで造船用鋼材の交渉後にイギリスへ

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

150th Anniversary



PORT OF KOBE



### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

150th Anniversary



PORT OF KOBE



高畑誠一が住んでいた家  
(ハムステッドヒース)



鈴木商店ロンドン支店の集まり



Nippon Club, 3 Cavendish Square

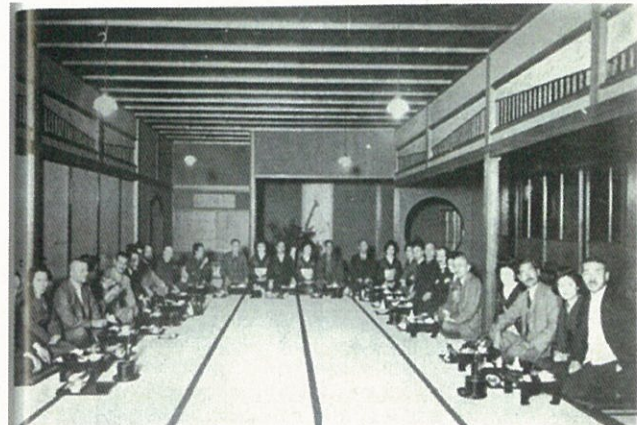
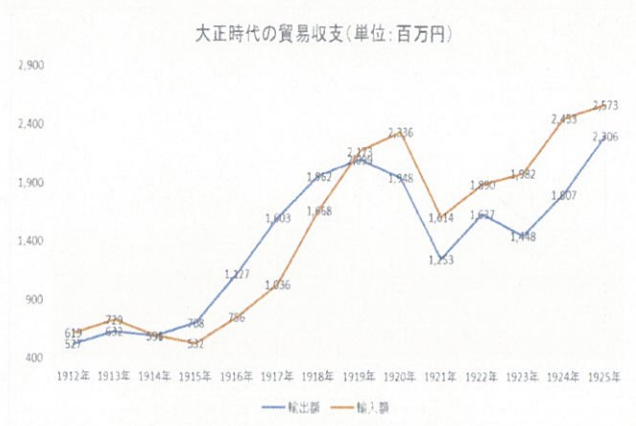
1919年に入居した日本人会事務所(キャバンディッシュスクエア)  
1916年のイギリスの在留邦人は672名 ロンドン在住は329名

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

150th Anniversary



PORT OF KOBE



- ・第一次大戦で軍事需要拡大
- ・輸出高拡大→債務国から債権国へ
- ・1919年に再度債権債務は逆転した

船鉄交換記念会食  
金子直吉を中心にして鈴木商店の幹部  
米関係者を含む来賓たち-神戸常盤花壇(神戸の料亭)

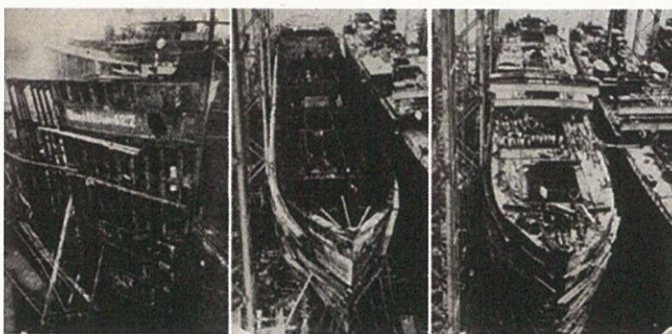
- 1916年 イギリス鋼材輸出禁止
- 1917年8月 米国の日本向け鉄材輸出中止
- 1918年3月 金子直吉が米国モリス大使を訪ね、船鉄交換条件をまとめた

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

150th Anniversary



PORT OF KOBE



来福丸 1916年から1921年にかけて75隻を量産した。  
1918年に当時の世界最短記録となる30日間で建造した  
貨物船。

船の価格  
1916年頃、建造費 5~60円/トン  
1917年頃、販売価格350-370円/トン(別資料 ¥400)  
→英国政府に12,000トンの船を12隻  
松方は、トン当たり1,000円になるまで売らない  
と言っていた

現在価値で600億円?  
≒12,000トン×12隻×400円×貨幣価値約1,000倍?

#### 松方幸次郎

- ・1918年8月イギリスを出発、帰国の途に就く
- ・高畑誠一とともにパリに立ち寄り
- ホテル・ムーリスで食事中、ドイツ軍のパリ砲を実感
- ・1919年11月末に神戸着。帰国途上に11月4日終戦(休戦協定)を知る



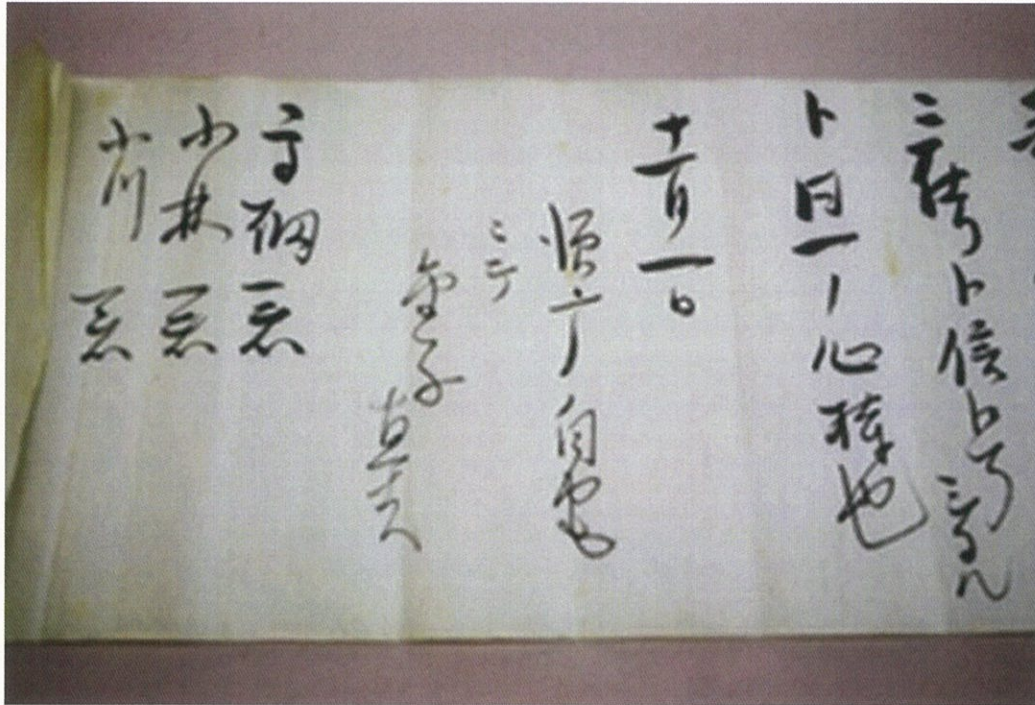
パリのホテル・ムーリス

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

天下三分の書はいつ書かれたのか？

11月1日

1915年or1916年or1917年



### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

松方コレクション時の時代背景

- ・美術は王侯貴族・教会のものだったが19世紀の産業革命も手伝い資本家や富裕層にコレクターが生まれる
- ・美術館の始まりはフランス革命時、美術品が海外流出したことから、ルーブル宮殿内に管理
- ・欧州各国では本格的な美術館が建立

美術館名	国	開館
バチカン美術館	イタリア	1503年
エルミタージュ美術館	ロシア	1764年
ウッフィーツィ美術館	イタリア	1769年
ルーブル美術館	フランス	1793年
アムステルダム国立美術館	オランダ	1800年
ベルギー王立美術館	ベルギー	1803年
国立プラド美術館	スペイン	1819年
ロンドンナショナルギャラリー	イギリス	1824年
ナショナル・ポートレート・ギャラリー	イギリス	1856年
スコットランド国立美術館	スコットランド	1859年
メトロポリタン美術館	アメリカ	1870年

・芸術家⇄画商⇄コレクターの美術市場が形成されていく

ジョン・ピアメント・モーガン

セルゲイ・イワノビッチ・シチューキン

アルバート・C・バーンズ

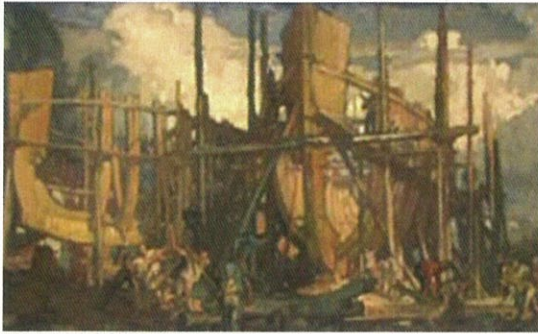
欧州の美術館の動きは、日本の明治維新前

日本では、

・1882年東京国立博物館が開館

・1930年、西洋美術に的を絞った美術館、大原美術館開館

### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)



松方が絵画を集め始めたきっかけ  
クイーン・アーンズ・マンションにブラングインの造船所の絵



フランク・ブラングイン 1867-1956年  
ベルギー生まれ、イギリス・ウェールズの芸術家  
幸次郎の兄 正作が下宿していた？



ブラングインが1時間で描いたとされる松方

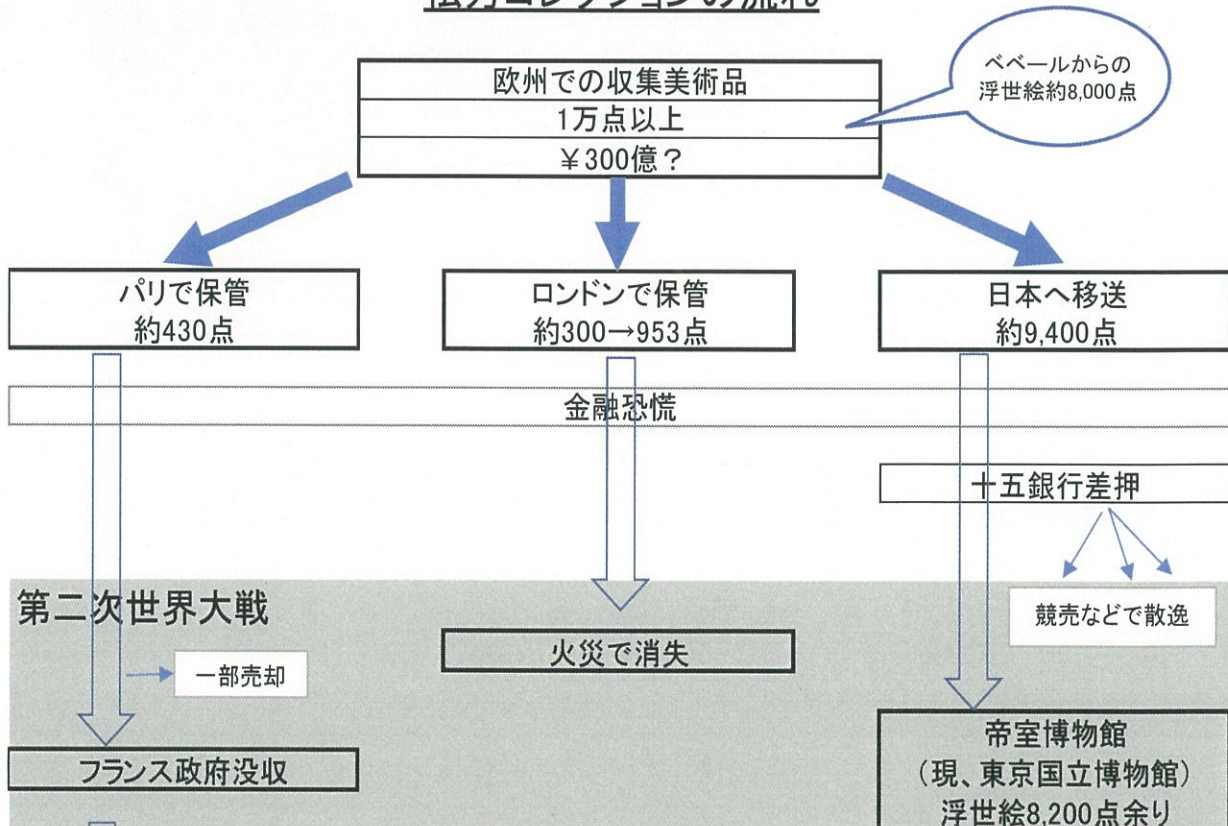
1917年、画商山中商会岡田氏より日本への美術館構想を持ちかけられる

- 浮世絵の大商い
- ・パリを代表する宝石細工師アンリ・ベベール (Henri Vever)
- ・約40年を費やして集めた浮世絵7,996点
- ・1918年3月 ドイツ軍によるパリ砲
- ・岡田からの話 戦火で消失したくな→10万ポンドで売却



### 3. 松方幸次郎の功績(③波濤編)

#### 松方コレクションの流れ



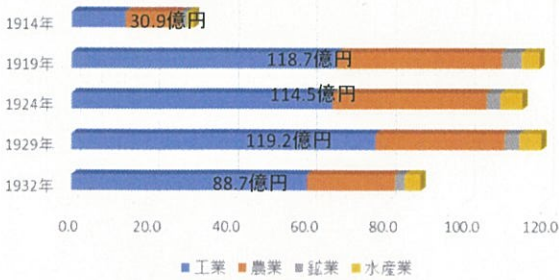




### 3. 松方幸次郎の功績 (④苦闘・再起編)

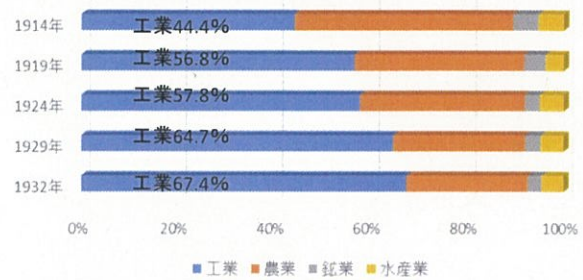
日本の各産業生産額

(出典: 日本資本主義発達年表 単位: 億円)



日本の各産業生産割合

(出典: 日本資本主義発達年表 単位: %)



○大戦後の国内の状況

- ・第一次大戦により1914→1919年、生産額は約4倍に増える
- ・工業割合が増え、農業国から工業国、軽工業から重工業への転換(国内産業の構造変化)
- ・大戦後は一辺倒の景気悪化ではなかった
- 1918年11月景気沈静化、1919年後半大戦景気上回好況、1920年4-7月株価1/3に暴落、1920年後半政府救済により沈静化
- ・各国の財政事情が悪化し協定による軍縮が広がる。国内は約10年にわたり慢性不況となる。
- ・工業割合は一貫して上昇している

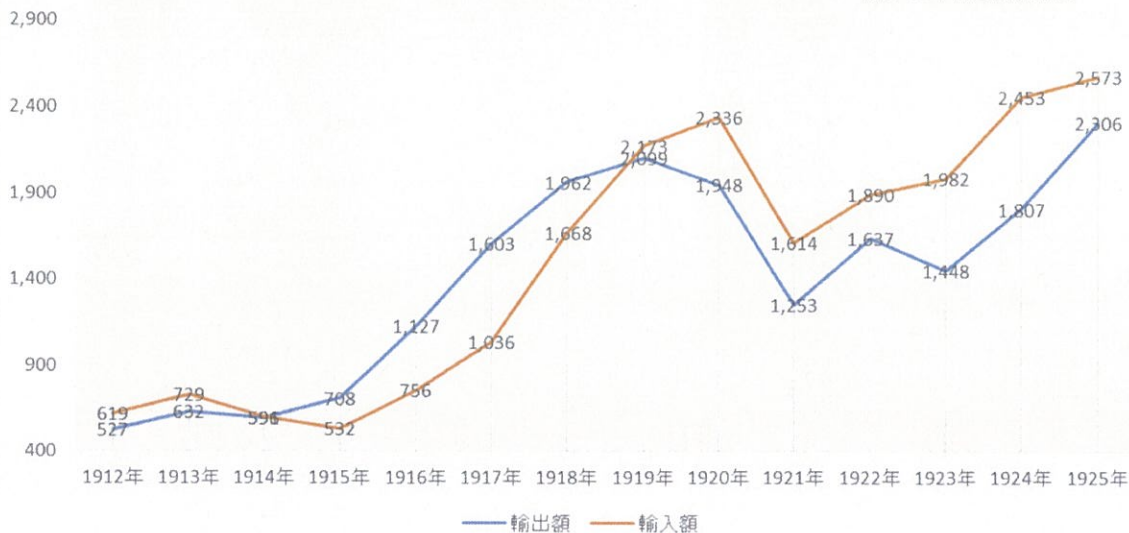
○川崎造船の対応

- ・1918年、兵庫工場内に飛行機科、自動車掛→産業構造の変化に対応(車両部門は好調)
- ・川崎汽船(+国際汽船)を立ち上げ、在庫船の販売→海運業への進出
- ・1920年、中小造船所が行き詰る中、軍艦受注(八八艦隊)で造船事業を維持→1922年軍縮
- ・1921年、海軍からの依頼でUボートの図面入手(1904年の活動と同様?に、今回は欧州でスパイ活動)

### 3. 松方幸次郎の功績 (④苦闘・再起編)

大正時代の貿易収支(単位: 百万円)

出典: 日本外国貿易年表



- ・大戦後の経済政策・政治の混乱も加わり、更に1923年の関東大震災による不況拡大
- ・1924年貿易赤字の為、贅沢品に対して100%関税を実施
- ・順次日本に送られていた松方コレクションが止まる
- \* 金子直吉、1923年に拒んでいた株式会社化、「経済の話」と言う本を書く

- 川崎造船は大戦後、じわじわと資金繰りが悪化していく
- 1928年5月、経営危機の責任を取って川崎造船を辞任(再建までは海軍が運用)

### 3. 松方幸次郎の功績(④苦闘・再起編)

150th Anniversary



PORT OF KOBE



松方日ソ石油の販売店

●ただでは転ばない方

- ・財界のルンペンを名乗りながら、「燃料報国」をあげソ連油を輸入
- ・昭和初期、スタンダード(米)、ライジングサン(英)、日石、小倉、三井、三菱によるカルテル
- ・石油の最大消費者はタクシー会社
- 1934-1935年、6社とのダンピング合戦
- ・1935年、日ソ石油会社は他社と合併、松方も経営実権から離れる

→約20年後、国益を基礎にイランより石油を輸入した日章丸事件と構造が似ている

1950年6月24日、84歳、鎌倉の寓居で息を引き取る

### おまけ

150th Anniversary



PORT OF KOBE

あらためて、この椅子と松方の関連が、  
分かる方はいらっしゃいますか？

